

倉田議員

生活環境や農作業環境整備の予算増額について

問 市内各地区の振興を図るために柱となるプロジェクトに加え、生活道路の整備や除雪困難な道路の融雪等、きめ細かな生活環境整備及び農道の修繕と舗装、小規模の土地改良や農地への進入路拡幅等の農作業環境整備が不可欠。これらの分野の予算は平成5年頃から11年頃は現在の2倍近くあったと認識している。24年度当初予算でこれら予算の増額ができないか伺う。

答 本年度の各地区要望の内容を確認すると、毎年繰り返し出されている要望もあり、要望の総数を確認しそれに対する費用を算出の上、年度計画を立てて予算要求することも必要であると認識している。財源確保については十分財政当局と協議をして進めたい。

農道舗装助成について

問 農道舗装については、

- ① 農業機械が大型化しており、路肩がしっかりしていないと危険であること。
- ② 農道の草刈り作業は大変であり、

その他の質問  
 ・生活環境整備分野の個別要望について  
 ・台風12号によって発生した深層崩壊について

舗装されていないところの農地は耕作受託者がいないこと。

③ 中山間地の舗装されていない農道はイノシシが掘り起こすこと。これら3点から助成の要望が極めて高くなっている。現在農道舗装助成は、農地・水・環境保全部でできることになっているが、支援額が少額で対応できない。市単土地改良事業補助金等での助成ができないか伺う。

答 市単土地改良事業補助金に盛り込むことはもちろんのこと、他の事業の活用も含めしっかりと対応していく。



野向町夏祭り

加藤議員

国保税の負担軽減について

問 国民健康保険税は高すぎる、値下げしてほしい、という声が高まっている。夫婦2人、子ども2人の4人家族で、年所得105万5000円に対して国保税が18万8000円という例がある。

- ① 所得の2カ月分が保険税だが、これで払える保険税といえるか。
  - ② 国保税では、1人あたり2万円という均等割が大きき比重を占めている。国庫負担の大幅増と均等割の廃止など所得中心の保険税に近づけることが最重要課題。見解を伺う。
  - ③ 勝山市の保険税減免規定は、恒常的な低所得世帯は対象外だ。改善すべき。
  - ④ 私たちの市民アンケートでは、保険税を値下げしてほしいという回答が67%もある。新体育館に30億円かける金があるなら、3500万円ですべての1世帯1万円の値下げができる。
  - ⑤ 勝山市の保険税の値上げにつながる「広域化」はやめるべき。
- 答 ① 低所得者の保険料負担に対応した制度となっており、算出された税額を負担いただきたい。

その他の質問  
 ・原発から撤退し、自然エネルギーの開発を  
 ・小中学校等の耐震化促進と防災機能の強化を  
 ・子育て支援の拡充を

② 全国市長会において国保財政安定化支援事業の見直しについて提言している。

- 低・中所得世帯が多数を占める当市の現状では、所得比例の保険税に近づけることは難しい。
- ③ 国の方針に則り、制度において軽減世帯の拡大をすることによって対応すべきと考えている。
- ④ 今後も増加が見込まれる保険給付費の財源に苦慮する現状において、値下げは難しい。
- ⑤ 将来の地域保険として長期的な安定を確保し一元的運用を図るという観点から、広域化を推進することが必要と考える。

勝山市国民健康保険税額

	医療分	後期高齢者支援金分	介護分
所得割	4.6%	1.4%	1.3%
資産割	23.0%	5.8%	5.0%
均等割	20,000円	7,000円	6,500円
平等割	19,000円	6,000円	5,000円

国保税は、医療分、高齢者支援金分、介護分の合計で決まります。介護分は40歳以上から徴収されます。均等割は被保険者1人あたりにかかる税額、平等割は1世帯にかかる税額です。